

ニチイキッズとやま光陽保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～2月15日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月15日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『おもいっきり遊ぶ』時間の確保をするために、おやつや給食時間の見直し、遊びの時間が増えたことで満足感が得られ、子どもたちひとりひとりの表情にも変化が見られ、いきいき過ごせた。ミーティングや研修で職員全体が同じ方向性に向かって保育できるようにした。
子どもの発達援助	カリキュラムに捉われず、子ども自身がどうしたいか。何をしたいかを大切に、「やってみたい」気持ちを大切にする保育をしていきたい。
保護者に対する支援	コロナ以前のように保護者も参加できる行事を計画し実行することが出来た。また、日々の連絡帳や園内の出来事をこまめに話をして共に成長を喜び合えた。
保育を支える組織的基盤	内、外部研修の充実。保育の質を上げるスキルアップ研修。また、キャリアアップ制度導入に伴い、更なる自身の成長に繋げていく。

総評
ひとりひとりのカラーを大切に、無理強いせず成長を見守る保育ができたと思う。異年齢保育の難しさはあるものの、良い刺激を与えあっていたようにも見えた。専門職との連携や協力も得られ助けられた。子ども達、保護者、職員が安心できる場所作りを目指していきたいので、職員全体のコミュニケーションを大切により一層信頼関係を深めていきたい。